

## よりよい家庭生活を営むための指導方法の実践

～家族とのかかわり方のロールプレイングを通して～

### 1. 設定理由

小学校高学年から中学にかけて思春期を迎え、家族との関係を煩わしく感じたり、家族よりも友人同士のかかわりを優先することが多くなったりする。また、面倒なかわりを避けるため、自分の気持ちを表に出さず、おとなに従順でいようとする子どもも少なくない。こうした心の葛藤や態度は、思春期であるこの時期には必要なことである。しかし、家族間に衝突やすれ違いが生じたり、自己主張を避ける状況が続いているばかりでは、家庭から真の安らぎを得、日々の活力につなげていくことはできない。

そこで、家族とのかかわり方のロールプレイングを実践し、相手の立場や気持ちに寄り添うことで、より良い家族関係を築くための気づきを与えたい。その中で、気持ちを伝えあい、互いの立場や気持ちを受け止めることを経験し、自分自身のよりよい家庭生活の営みにつなげたいと考え、本題材を設定した。

### 2. 研究仮説

- (1) ロールプレイングを通して、家族と自分のかかわりを振り返ることができるであろう。
- (2) 仮の家族としてロールプレイングを行うことで、相手の立場や気持ちに寄り添いながら相互理解が深まり、よりよい家族関係の構築につながるであろう。
- (3) ロールプレイングを行うことで、相手や状況に応じた気持ちのコントロール（自己を積極的に表現すること・気持ちを抑制すること）ができるようになるであろう。

### 3. 研究内容・方法

- (1) 生徒の実態調査・アンケートの実施
- (2) ロールプレイングを取り入れた授業の実践

### 4. 結論

- ロールプレイングを通して、自分自身をみつめ、自己理解につなげることができた。
- 設定から見える家族の課題について、ロールプレイングの中で解決策を導き出そうという姿勢が見られた。
- 自分の気持ちをコントロールすることも、家族の課題への解決方法の一つであることに気付くことができた。

## よりよい家庭生活を営むための指導方法の実践

### ～家族とのかかわり方のロールプレイングを通して～

#### 1. 設定理由

小学校高学年から中学にかけて思春期を迎え、自立心が芽生えることで、家族と距離を置きたがったり、家族に対して批判的になったりする傾向がある。そのため、家族よりも、友人同士のかかわりを優先することが多くなり、家族との関係を煩わしく感じたり、ひとりで過ごす時間が増えたりする時期でもある。また、面倒なかかわりを避けるため、自分の気持ちを表に出さず、おとなに従順でいようとする子どもも少なくない。こうした心の葛藤や態度は、思春期であるこの時期には必要なことである。しかし、家族間に衝突やすれ違いが生じたり、自己主張を避ける状況が続いているばかりでは、家庭から真の安らぎを得、日々の活力につなげていくことはできない。こうした状況の中で、生徒一人ひとりが家庭・家族に目を向け、他者とのかかわり方や自身の生活を見直すことは、意義深いことであると考えます。

そこで、家族とのかかわり方のロールプレイングを実践し、相手の立場や気持ちに寄り添うことで、より良い家族関係を築くための気づきを与えたい。また、仮の家族を演じる中で、自分の置かれた状況や場面での気持ちをうまく伝えられるよう、家族とのコミュニケーションの取り方について考えさせたい。さらにその中で、気持ちを伝えあい、互いの立場や気持ちを受け止めることを経験し、自分自身のよりよい家庭生活の営みにつなげたいと考え、本題材を設定した。

#### 2. 研究仮説

- (1) ロールプレイングを通して、家族と自分のかかわりを振り返ることができるであろう。
- (2) 仮の家族としてロールプレイングを行うことで、相手の立場や気持ちに寄り添いながら相互理解が深まり、よりよい家族関係の構築につながるであろう。
- (3) ロールプレイングを行うことで、相手や状況に応じた気持ちのコントロール（自己を積極的に表現すること・気持ちを抑制すること）ができるようになるであろう。

#### 3. 研究内容・方法

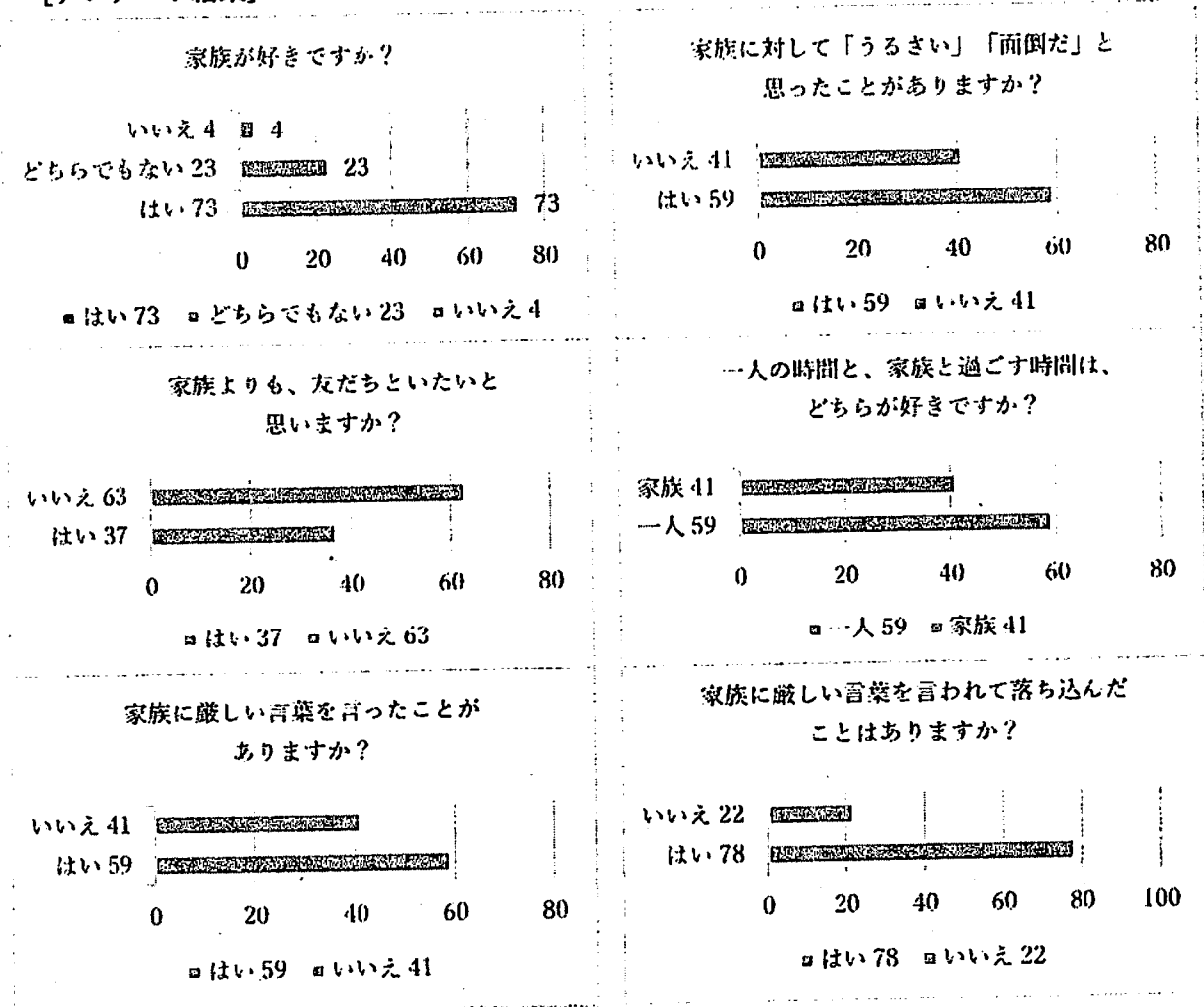
- (1) 生徒の実態調査・アンケートの実施
- (2) ロールプレイングを取り入れた授業の実践

#### 4. 研究の実際

##### (1) 生徒の実態：袖ヶ浦市立平川中学校1年生（83名）

授業の発表や行事のリーダーなど、とても積極的で、チャレンジ精神が旺盛な学年である。大半の家庭は、生徒の活動に協力的で、学校行事にも多くの参加者がある。一人親の家庭は15%程度でそれほど多くはないが、学区に児童養護施設があり、そこから通う生徒が各学級に2人程度在籍している。祖父母と同居している家庭は、全体の約30%。学区が広いため、保護者や祖父母の送迎で通学する生徒が多い。家庭環境や背景はさまざまであるが、学校と施設の連携が密であり、施設の生徒でも自分の状況を受け入れている生徒が多いように感じられる。

##### [アンケート結果]



上記のアンケートより、「家族が好き」という生徒がほとんどであるが、その反面、家族に対して「うるさい」と感じることもある生徒も多い。家族よりも友だち、家族よりも一人で過ごしたいと思っている生徒も少なくはなく、まさに思春期を迎え、自立への気持ちの芽生えが高まってきたように見える。しかし、まだ1年生であることから、生徒との日々の授業でのやりとりの中で、小学校の延長のような幼さが残っているようにも感じられる。また、家族から厳しい言葉を言われて落ち込んだことがある生徒、あるいは家族に対して厳しい言葉を言ったことがあ

る生徒がそれぞれ学級の半数以上おり、家族間のやりとりの中でお互いの気持ちがうまく伝わらなかった、あるいは伝えられなかった経験が少なからずあると考えられる。

平川中学校には児童養護施設で生活している生徒がいるので、教員が話す言葉には最大限の配慮が必要であるが、生徒がこれから大人になって築くであろう家族像や、家族間で生じる課題について考えさせるためにも、ロールプレイングを授業に取り入れることは、生活の一助となると考える。

## (2) 指導計画 (2時間扱い)

時配	目標	学習活動	○主な評価
1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・家族との関係について考えることができる。</li> <li>・思春期の特徴について知る。</li> <li>・様々な家族形態があること、家族の生活の仕方はさまざまであることを知る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・小学校の時の家族との関係と、中学生になった今の関係について比較して考え、班で考えを共有する。</li> <li>・思春期の特徴を知り、それによる家族関係の変化について知る。</li> <li>・家族形態や生活の変化について知る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○自分を振り返って考えることができる。(関心・意欲)</li> <li>○思春期の特徴について理解することができる。(知識・理解)</li> <li>○様々な家族形態があることや、生活の仕方はさまざまであることが分かる。(知識・理解)</li> </ul>
1 (本時)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・家族の気持ちを考えてロールプレイングができる。</li> <li>・ロールプレイングを通して、より良い家族関係を考えることができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・役割を決め、班ごとにロールプレイングを発表する。</li> <li>・ロールプレイングのセリフを書き出す。</li> <li>・お互いのロールプレイングを見て、意見を交換する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○家族の気持ちを考えてロールプレイングができる。(関心・意欲)</li> <li>○ロールプレイングを通して自らの生活を振り返りながら、よりよい家族とのコミュニケーションの方法を考える。(創意工夫)</li> </ul>

## 5. 授業実践

### (1) 実践①：わたしと家族との関係

#### ①本時の目標

- ・家族との関係について考えることができる。(関心・意欲)
- ・思春期の特徴について知ることができる。(知識・理解)。
- ・様々な家族形態があること、家族の生活の仕方はさまざまであることが理解できる。(知識・理解)

②展開

時配	学習活動と内容	指導支援と評価	教材
10	1. 小学校の時と、中学校になった 今では、家族との関係はどう変化したか考え、意見を共有する。	○まだ中1であるため、家族関係の変化が 感じられない生徒がいることが想定されるので、班での活動とし、意見を共有させる。	学習ノート
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 0 auto;">                     家族との関係の変化について考えよう。                 </div>			
20	2. 思春期について知る。	○思春期について正しく理解し、それによって家族とのかかわり方が変化することがあることを知る。 ◎思春期の特徴について理解することができる。	資料
20	3. 家族関係や生活スタイルが変化していることを知る。	○さまざまな家族の形があることに触れ、家族関係や生活スタイルが変化していることを知る。 ◎さまざまな家族形態があることや、家族によって生活の仕方はさまざまであることが分かる。	

平川中学校では、家庭環境がさまざまであるため、養育者については「保護者」と言うよう配慮した。小学校頃の振り返りをさせたが、実施した学年が1年生だったため、「学校にいる時間が長くなったこと」「土日に部活動があること」以外、家族関係で特に大きく変わったことはないという生徒が多かった。しかし、家にいる時間が短くなった分、「家族との会話が減った」という意見には、皆同感している様子だった。

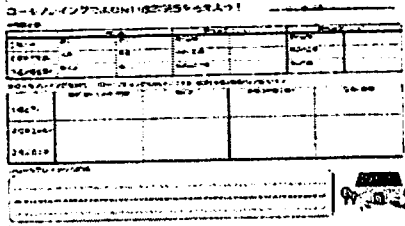
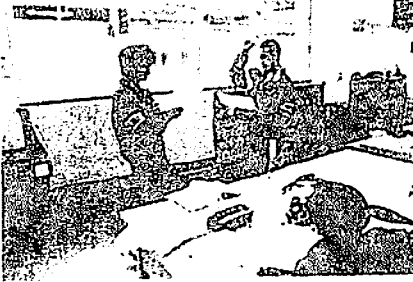
1時間目は、家族の形態や思春期の特徴などを理解することに重点を置いて授業を進めた。次時でロールプレイングを行うために、家族にはさまざまな形態があり、境遇や家族構成もそれぞれ違うことを理解させておきたいというねらいがあった。思春期については、実感している生徒と、実感がわからない生徒は半分くらいの割合であった。

(2) 実践2：中学生と家族とのかかわり

①本時の目標

- ・家族の気持ちを考えてロールプレイングができる。(関心・意欲)
- ・ロールプレイングを通して、より良い家族関係を考えることができる。(創意工夫)

②展開

時配	学習活動と内容	指導支援と評価	教材
5	1. 前時の活動を振り返る。 ・小学校の時と、中学校になった今では、家族との関係はどう変化したか、前時で出た意見に触れる。	○本時の課題をつかむために、前時の学習を想起させる。	資料
ロールプレイングで、より良い家族関係を考えよう。			
25	2. 各班で3パターンの場面を用意しそれぞれ役割を決める。 <3種類のロールプレイング> ①保護者&子 ②きょうだい ③祖父母&孫 3. 班ごとに即興でロールプレイングをする。 ①保護者と子の場面（1分間） ↓ ロールプレイングの内容について話し合いをする。(2分記入+3分意見交換) ・ロールプレイングを見た感想 「自分でもそう言うと思う」 「反抗的に見えた」 ・話し方はどうだったか 「言い方がきつい」「怖い感じがした」 ・それぞれの立場から見た感想 「子どものことを思って話していた」 「親に反抗的だと思った」 「すんなり言うことを聞きすぎだ」 ・どのように解決したか 「子が言うことを聞いて解決した」 「おとなが説得して解決した」 「言い合いが続いて解決しなかった」 ↓ ②きょうだいの場面（1分間） ↓ ロールプレイングの内容について話し	○2分程度時間を取り、誰がどの役割を演じるか決めさせる。  <ul style="list-style-type: none"> <li>・1分間ロールプレイングを続ける。</li> <li>・それぞれ、思い思いに話をして良いということ、やりとりの中で問題となっていることが解決に向かうように話をすることを伝える。</li> <li>・ロールプレイングを見ていた生徒は、感想や話し方について意見を話す。解決に向けて、改善した方が良い点があれば、話し合う。</li> </ul> ロールプレイングの様子  <ul style="list-style-type: none"> <li>・やりとりの中で、最終的にはどのように解決したか、班で考えを共有する。</li> </ul>	ワークシート

	<p>合いをする。(5分間)</p> <p>↓</p> <p>③祖父母&amp;孫の場面(1分間)</p> <p>↓</p> <p>ロールプレイングの内容について話し合いをする。(5分間)</p> <p>4. ワークシートに、ロールプレイングをした感想を記入する。 数名を指名し、発表する。</p>	<p>◎話し合いを積極的に行うことができる。</p> <p>○家族関係をよりよくするにはどのようにしたら良いか、日頃の態度や言動についても振り返らせる。</p>	
<p>☆それぞれの立場で主張はある。しかし、思い思いに主張してしまうと、ぶつかり合ったり摩擦が生じたりすることがある。互いに気持ちを受け止め、話し合い、家族としての関係をつくっていくことが大切である。(人間関係の調整)</p> <p>☆家族間でも、言わなければ伝わらない気持ちがある。それを伝える必要があるが、伝え方を工夫しなければ、相手には正しく伝わらないこともある。(共通理解や意思疎通を図る手立て)</p>			
10	<p>5. ロールプレイングのやりとりを振り返り、行った感想を書く。また、自分の普段の言動を振り返り、感じたことを書く。</p>	<p>◎自らの生活を振り返りながら、より良い家族とのコミュニケーションの方法を考えることができる。</p>	ワークシート

3場面を用意し、あくまでも「仮の家族」の設定であることを念押しして、演じ手・聞き手の役割を決めさせた。ロールプレイングを行うにあたり、生徒には、思い思いに話しても良いということ、やりとりの中で問題となっていることが解決に向かうように話をしてほしいということ传达了。聞き手が、その時のやりとりを記録し、意見交換の際の資料とした。

さまざまな家庭環境に配慮し、「仮の家族」である前提でロールプレイングを行ったが、真剣にやるあまり、自分の家庭と重ねてしまい、「自分の弟はこんなこと言わないのに…」と泣き出してしまう生徒がいた。また、言われたことに対して、本当に怒りだしてしまう生徒もいた。

意見交換では、①話し方、②役割の立場で見て、③問題の解決策と3つの観点をもたせて話し合いをさせた。とても活発に意見交換ができ、それぞれ役になりきって考えていた。ロールプレイングの目的は、立場が違ふ人の役割を演じることで相手の気持ちや自分の気持ちを理解することなので、役になりきって考えられたことこそがひとつの成果であるとする。しかし、場面の設定が、お互いの主張がぶつかり合うような場面だったため、やりとりが反抗的な強い口調になる場面も見受けられた(※例1)。あるいは、保護者や祖父母のような年上の人の言うことを、子どもが反抗せずに聞くやりとりも少なくなかった(※例2)。

[やりとりの例：1]

役割	セリフ	様子
父親 息子	父「テレビを見ていないで、宿題をやりなさい！」 子「後でね」 父「このテレビが終わったらちゃんとやりなさい。」 子「めんど。だるい。」 父「そんなこと言ってないで、やりなさい！」	父親は怒っているのに、めんどうそうに対応する息子。その態度に父親はさらに腹を立てる。

[生徒からの意見]

- ・最初はとても怒っていて、怖い感じがした。
- ・言葉遣いが良くないと思った。
- ・どちらも自分の気持ちをしっかりと伝えていないので、なかなか解決しないと思った。

[やりとりの例：2]

役割	セリフ	様子
母親 息子	母「宿題は終わったの？」 子「ごめんなさい、まだです。」 母「早くやりなさいよ。」 子「わかった。」	息子が素直に母親に応じる。

[生徒からの意見]

- ・子が素直に言うことを聞いていて、すぐ解決できた。
- ・子はテレビを我慢しなければならぬので、意見は言うべきだと思った。

設定①「保護者と子の場面」では、全18班のうち、お互いの主張が続いてなかなか解決できないやりとりが5班、保護者に子が従うやりとりが4班、録画をすることで解決したやりとりが9班あった。設定②「きょうだいの場面」では、時間を決めて手伝いをするやりとりが3班、年上に年下が従うやりとりが8班、「やって」「やだ」の主張がしばらく続くやりとりが5班、勉強の後に手伝う約束をするやりとりが2班、年上がすべて引き受けるやりとりが1班あった。設定③「祖父母と孫の場面」では、祖父母に孫が叱られて従うやりとりが10班、孫が反抗するやりとりが5班、お互いに理由を伝えあうやりとりが2班あった。自由なやりとりであるため、解決やりとりの中だけでは解決できない班もあったが、やりとりの中で解決ができた班は、言葉を選びながら相手に話をしていたようだった。

まとめとして、生徒にロールプレイングの感想を書かせた。そこから、生徒の学びとなった部分をキーワードとして抽出した。

【授業を終えて、生徒の感想と学び】

- ・解決することは、とても難しいと思いました。
- ・素直になることが大切だと思いました。
- ・最初は難しかったけど、2回目からは話し合いで解決することができた。
- ・それぞれ違う人がやっていたので、いろいろな家庭があることが分かりました。
- ・解決するにはどうすればいいか考えたらたくさんあった。



- ・きょうだいとはいつもケンカしているけれど、もう少し優しくしたいと思った。→**自己理解**
- ・祖父母に冷たく接していることがあるので、気を付けようと思いました。→**自己理解**
- ・自分以外の家族の気持ちがよく分かりました。→**他者理解**
- ・相手の気持ちが分からなくてケンカになっていたけど、話を素直に聞けば解決する。  
→**相手の話を聞く**
- ・相手のことをちゃんと考えて話し合わないと、思いがちいやケンカになると思った。  
→**相手の気持ちを考える**
- ・ロールプレイングをやって初めて親の立場が分かった。やっぱり親でもむかつくことはあるんだなと思った。→**相手の立場を考える**
- ・自分の気持ちを優先して意見ばかりきいていると、どうせはケンカになってめんどうになるだけだから、相手の意見を聞いたり、自分の気持ちをちょっと抑えるだけでも新しい解決方法がみつかったケンカにならないで済むかなと思った。  
→**相手の意見を聞く**・**自分の気持ちをコントロールする**
- ・ロールプレイングの授業は難しかったが、他の人の立場になってみて分かった気持ちや、共感できる気持ちがあった。どの家庭や家庭環境でも、互いの気持ちや思いを考えあえるようにすると思う。→**相互理解**・**互いの思いを考え合う**
- ・家族としっかり意見を言い合うことを心掛けたいと思いました。→**意見を言い合う**
- ・家族でも言葉に気を付けてしゃべらないと、相手がとっても傷つく。→**言葉を選ぶ**

## 成果

### (1) ロールプレイングの学習効果として

#### **自己理解**

- ・「もう少し優しくしたい」「冷たく接していることがあるので、気を付けよう」といった、自分の普段の言動を振り返った感想の記述が見られた。ロールプレイングを通して、自分自身をみつめ、自己理解につなげることができた。
- ・「自分の気持ちを少し抑えるだけで解決方法が見つかる」という記述から、自分の気持ちをコントロールすることも解決方法の一つであることに気付くことができた。

#### **他者理解・相互理解**

- ・「相手の意見を聞く」ことや「相手の気持ちを考える」ことの重要性について記述した生徒が多かった。相手がどのように感じ、自分にどのように接していたのか振り返ることができ、よりよい対応の仕方を考えられた。
- ・「考え合う」や「言い合う」のように、どちらか一方がということではなく、お互いに寄り添うことの大切さに気付くことができた。

#### **問題解決能力**

- ・設定から見える家族の課題について、ロールプレイングの中で解決できるようにやりとりを進められていた。解決策を導き出そうという姿勢が見られた。

## (2) その他

- ・さまざまな家族の形があることを、実感を伴って気付かせることができた。自分の家族と重ね合わせて感情的になってしまった生徒も、話し合いの場面では、どうしたら言い合いにならないか、どうしたら相手を傷つけずに伝えられるか、考えることができていた。
- ・施設から通う生徒の感想の一部に、「難しかったが、他の人の立場になってみて分かった気持ちや共感できる気持ちがあった」とあり、家庭環境にとらわれず、家族や保護者との関係について考えることができた。
- ・自らの家族関係に反映させようとする意欲的な姿勢が見られた。
- ・改善策や解決方法を考えさせたことで、相手の気持ちを受け止めようとする姿勢や、伝え方に配慮する姿勢が表れた。言葉遣いに着目した生徒は多く、自身の言葉遣いや態度を振り返ることができていた。

## 7. 課題

- ・内容が道徳に近いものになってしまった。心の動きや言葉遣いなど、道徳的な要素を含む題材ではあるが、家庭科の授業としての本質を押さえて授業を展開しなければならない。例えば、今回の場面設定で発展させて考えられるのは、

[例]設定①の場面 → テレビを見る時間、勉強をする時間のとりきめをつくる。

設定②の場面 → 家族で家事を分担する（役割を決める）。

設定③の場面 → 時間の使い方について考える。

などが挙げられ、ロールプレイングで家族とのかかわり方を考えるだけでなく、より具体的に家族関係と直結する課題に向き合っていくことができれば、よりよい家庭生活につながる知識や技能が深まるのではないかと考える。

- ・さまざまな家庭環境があることへの配慮を今後も継続していく。生徒と良好な関係ができていなければ家族関係の題材は扱い難いため、普段から積極的に生徒とのコミュニケーションをとり、良好な関係を築き、家庭の形態や背景に最大限の理解を示しながら授業を進めていくことが大切である。
- ・より実践を深めるために、今後の家庭生活につながる活動を取り入れる必要がある（例：実践「家族と話してみよう」、その後の事後アンケートで変容を見る、など）。仮の家族のロールプレイングから、自らの家庭の実践につなげられるようにしたい。

# 資料

各班で行ったロールプレイングのやりとり

【保護者と子の場面】

1	人物	セリフ	様子
	父親 息子	父「テレビを見ていないで、宿題をやりなさい！」 子「後でね」 父「このテレビが終わったらちゃんとやりなさい。」 子「めんど。だるい。」 父「そんなこと言ってないで、やりなさい！」	父親は怒っているのに、めんどろそうに対応する息子。その態度に父親はさらに腹を立てる。
<p>【生徒からの意見】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・最初はとても怒っていて、怖い感じがした。</li> <li>・言葉遣いが良くないと思った。</li> <li>・どちらも自分の気持ちをしっかりと伝えていないので、なかなか解決しないと思った。</li> </ul>			

2	人物	セリフ	様子
	母親 息子	母「宿題は終わったの？」 子「ごめんなさい、まだです。」 母「早くやりなさいよ。」 子「わかった。」	息子が素直に母親に応じる。
<p>【生徒からの意見】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・子が素直に言うことを聞いていて、すぐ解決できた。</li> <li>・子はテレビを我慢しなければならぬので、意見は言うべきだと思った。</li> </ul>			

3	人物	セリフ	様子
	母親 娘	母「テレビばかり見ていないで、勉強してよ」 (怒っているように) 子「友達と話す話題がなくなっちゃうから、もう少し見ていたいな」(話すことがなくなる心配の気持ち) 母「宿題はいつやるの？」 子「終わってから。」 母「宿題が終わってから見れば？」 子「見れないところがあるじゃん。」 母「録画すればいいでしょ？」 子「わかったよ。」	最初は怒ったように母親が話しかけるが、子が気持ちを伝えたことで、母親が歩み寄る。結果、録画という物的解決方法が見つかる。
<p>【生徒からの意見】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・親が解決方法を出してくれたことで、子どもが宿題をやってくれていたもので、そうすればやる気を出してくれることが分かった。</li> <li>・勉強もできるし、あとでテレビも見られるから、どちらにも利益がある解決方法で良かった。</li> <li>・言いたいことが伝わるやりとりでよかった。</li> </ul>			

[きょうだいの場面]

1	人物	セリフ	様子
	兄 弟	兄「部屋にこもっていないで、早く出てきて手伝って。」 弟「しょうがないじゃん。テストが近いから勉強してるの。」 兄「30分でもいいから。」 弟「うーん、じゃあ何したらいいの？」 (兄が困っているから少し手伝うくらいならいいかな)	兄が30分という条件を付けながら頼むことで、弟が兄の困り感を理解し、手伝う気になる。
[生徒からの意見]			
<ul style="list-style-type: none"> <li>・短い会話で解決していた。</li> <li>・弟が我慢してお手伝いをしているように感じた。</li> <li>・具体的な「30分」という指示が良かった。</li> </ul>			

2	人物	セリフ	様子
	姉 妹	姉「今日親がいないから手伝ってよ」 妹「私は今テスト勉強で忙しいの！」 姉「手伝いをしてからでいいでしょ？」 妹「でも、もうすぐテストなの！」 姉「後で教えるから。」 妹「わかった。なら手伝いをする。」	お互いの気持ちを伝えた後、姉が「後で勉強を教えてあげる」ことで解決。
[生徒からの意見]			
<ul style="list-style-type: none"> <li>・姉は「勉強を教えてあげる」ことを条件にして、妹に強く言っていなかったのが良かった。</li> <li>・姉が優しすぎる。妹がワガママ。</li> <li>・勉強を教えてあげると、姉の時間が減ると思う。</li> </ul>			

3	人物	セリフ	様子
	姉 弟	姉「お風呂掃除をやって。」 弟「やだ。」 姉「やって。」 弟「やだ。」 ～このやりとりがしばらく続いて～ 姉「お風呂掃除だけでいいからやって。」(妥協する) 弟「はい。」	「やって」「やだ」の主張が続き、なかなか解決できない。姉が「風呂掃除だけ」と限定することで解決。
[生徒からの意見]			
<ul style="list-style-type: none"> <li>・お互い思っていることを言っていないので、なぜやってほしいのか、なぜいやなのかを言うべき。</li> <li>・姉がお風呂掃除という具体的なやることを示していたのはよかった。</li> <li>・気持ちを伝えないと、お互いすっきりした解決にならないと思う。</li> </ul>			

4	人物	セリフ	様子
	姉 妹	姉「今日は家族がいないから、家のこと手伝って！」(イライラ) 妹「単元テストが近いから、勉強しなきゃいけないの！」(イライラ)	イライラしながら会話が始まったが、姉

	姉「じゃあ、1時間勉強したら下りてきて手伝ってくれる？」 (優しく言おうとしている) 妹「わかった。じゃあ、1時間勉強したら手伝う。」 姉「お願いね。」 妹「はい。」	が優しく話そうと努めたことで、何とか話が解決した。
【生徒からの意見】 ・姉が優しく接したから、妹もそれに答えているような感じだった。 ・強く言わず、優しく言っていてよかった。 ・最後は明るく会話が終わりになっていてよかった。		

5	人物	セリフ	様子
	姉 妹	兄(あー今日は家族が不在だ。面倒だな。あ、そうだ!弟に頼もう) 「おーい弟、家事を手伝ってくれー!」 弟「今勉強してるから、兄がやってよ。もうすぐテストだから、勉強しないとイケない。」 兄「そっか、勉強をしているのか。頑張れ。じゃあ、終わったら手伝ってね。」	兄が弟に理解を示し、一方的に家事を引き受ける。
【生徒からの意見】 ・兄が優しすぎる。こういう兄なら、普段からもっと手伝えればいいと思う。 ・弟が一方的で、兄に全部負担がかかっている。 ・兄は手伝ってもらえなかったけれど、納得しているので、それはそれでよいと思う。 ・終わったら手伝ってと言っているが、きっと終わっても手伝わないと思う。			

【祖父母と孫の場面】

1	人物	セリフ	様子
	祖父 孫男	祖父「遅い!もっと早く帰ってこなきゃだめじゃないか!」 (少し怒っている) 孫男「地域のイベントだって言ったじゃん。」 (なぜ分かってくれないのか不思議) 祖父「でも、門限は守らなきゃだめじゃないか。」 (落ち着いて話をしようと思った) 孫男「わかったよ。」(心配させてしまった。気を付けよう)	だめと言われ、孫は素直に受け入れる。
【生徒からの意見】 ・簡潔なやりとり。孫が素直に話を聞いていてよかった。 ・怒っているのは心配しているからだと思うので、孫は謝らなければいけないと思う。			

2	人物	セリフ	様子
	祖父 孫男	祖父「今日は帰ってくるの遅かったね。どうしたの」 孫男「うるせえじじい、どうでもいいだろ」(反抗する気持ち)	孫が祖父に強く反抗する。

祖父「その口のきき方はないだろう」 孫男（椅子をける） 祖父「やめなさい！時間を決めてあるのだから、ちゃんと帰ってきなさい！」 孫男「めんどくせえな、分かったよ。」	祖父も強く対 抗する。
[生徒からの意見] ・孫が反抗期だと思った。反抗期の家庭にありがちだと思った。 ・乱暴な言葉遣いは不快になるから、よくない。 ・優しく話しかけたのに、孫はひどいと思った。	

3	人物	セリフ	様子
	祖母 孫女	祖母「どうして早く帰ってこなかったの？」（心配する） 孫女「おばあちゃんはイベントのことを知っていると思ってた」 （ちょっと反抗） 祖母「時間までは分からなかったよ。心配したよ」 孫女「心配させてごめん」 祖母「ちゃんと門限は守るのよ」（優しく注意する） 孫女「はい。」	祖母が理由を聞いて、お 互いに理由を話す。孫は 謝り、祖母は優しく注意 する。
[生徒からの意見] ・「理由」や「お願い」などをしっかり主張したうえで、しっかり解決できてよかった。 ・おばあちゃんが心配して優しく注意していたのが、孫にとってよかったのでは。 ・孫が遅くなっても、あまり怒っていなかったから、すごいなと思った。			

各班の演じた内容の分類（全18班）

[親と子の場面]

1のやりとりタイプ	5
2のやりとりタイプ	4
3のやりとりタイプ	9

[兄姉と弟妹の場面]

1のやりとりタイプ	3
2のやりとりタイプ	8
3のやりとりタイプ	5
4のやりとりタイプ	2
5のやりとりタイプ	1

[祖父母と孫の場面]

1のやりとりタイプ	10
2のやりとりタイプ	5
3のやりとりタイプ	2

ロールプレイングの様子



# ロールプレイングでより良い家族関係を考えよう！

R 番 氏名 \_\_\_\_\_

## ☆役割分担

	演じ手		聞き手① (2人)		聞き手② (2人)	
①保護者と子	保護者：	子：	保護者の立場：		子の立場	
②きょうだい	兄姉：	弟妹：	兄姉の立場：		弟妹の立場	
③祖父母と孫	祖父母：	孫：	祖父母の立場：		孫の立場	

## ☆ロールプレイングを見て… (ロールプレイングを演じたところは、感想と友達の意見のみの記入でOK)

	見た(演じてみた)感想	話し方はどんな感じ？	役割の立場で見て	解決方法
①保護者と子		例：きつい感じがした。やさしく話していた。 など	例：相手を思って話していた。 もう少し自分の意見を話しても良いと思う。 など	例：保護者は〇〇して、子は△△に気を付けるようにする。 など
②きょうだい				
③祖父母と孫				

## ☆ロールプレイングの感想

---



---





# ロールプレイング資料

## 設定①「保護者と子」

夕飯のあと、テレビに夢中な子どもと、それを見ている保護者。

### 保護者

夕飯のあと、子どもはずっとテレビを見ている……。いつまでテレビを見ているのだろうか。宿題は終わったのだろうか。勉強の様子が見えないなあ……。勉強してほしいなあ。

### 子

夕飯のあとに見始めたテレビがとても面白い！きっと友達も見ているだろうな。明日学校で友達と話をしたいな。宿題はまだ終わっていないけれど……。このテレビを見終わったら頑張ろうと！

## 設定②「きょうだい」

今日は家族が不在。きょうだいだけで家にいます。

### 兄姉

今日は家族がいないから、お風呂掃除にお洗濯、食事の片付けもしなくっちゃ。弟(妹)にも手伝ってもらわないとやりきれない！だけど、弟(妹)は自分の部屋から出てこない。何をしているんだろう？まったくもう、手伝ってよね！

### 弟妹

今日は家族がいないから、家のことをいろいろしなくちゃいけないな。でも、単元テストが近いから、勉強したいな。兄(姉)がいるから、今日は任せてしまおうかな。いいよね、だって、家族がいるときに手伝いをいっぱいしているのは、兄(姉)じゃなくて、自分だもん！

## 設定③「祖父母と孫」

今日は日曜日。いつもは 17 時までに帰ってくる孫が、今日は 18 時に帰宅した。

### 祖父母

いつもは 17 時に帰ってくるのに、本当に心配した！地域のイベントだとか言っていたが、どんな理由があっても、決められた門限は守らなければいけない！

### 孫

今日は地域のイベントで、いつもの帰宅時間よりも遅くなってしまった。でも、家族も地域のイベントに行っていることは知っているし、遅くなると思っているはず。大丈夫でしょ！

MEMO